



BerAKHLAK
Berorientasi Pelayanan Akuntabel Kompeten
Harmonis Loyal Adaptif Kolaborasi

**bangga
melayani
bangsa**



2023年9月20日

村落部の 地域経済の活性化： 北ルウ県の ベストプラクティス

インダー・プトゥリ・インドゥリアニ





アウトライン

1. 北ルウの概要
2. 北ルウの経済状況
3. 村落開発指数のステータスの推移
4. 村落資金予算割当政策
5. 地域開発政策
6. 村落地域の目的と優先事項
7. 北ルウ村落地域
8. 村落地域実施戦略
9. 村落地域実施の影響
10. 村落地域の優位性の開発



北ルウの概要



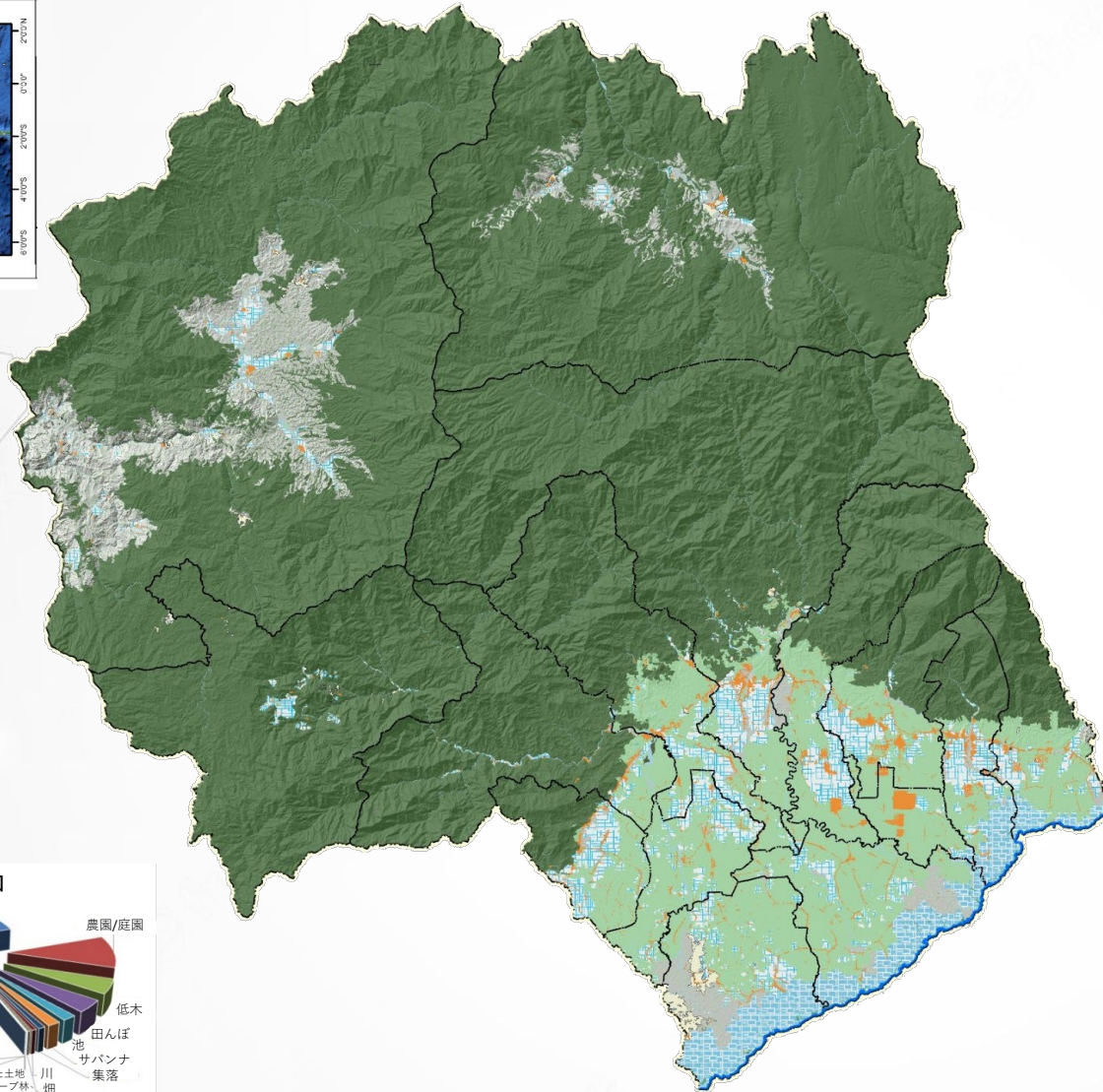
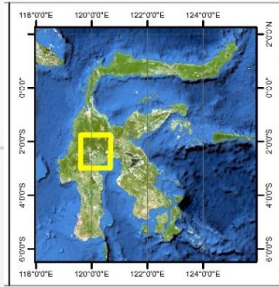
地理的位置と戦略

- 中部スラウェシと西スラウェシとの境界地域に立地
- 南スラウェシ州の州都から±450 Km
- スラウェシ縦断路が通過、ボネ湾に面する
- 海岸線 : ± 72,65 Km
- 成長の中心地の周辺に立地

地域のプロフィール

- 地域面積 : 7.422,41 Km²
- 人口 : 327.820 人
- 15の郡、166の町、7の村から構成
- 2022年の経済成長 : 4,54 %
- 農業セクターが地域GDPに最も寄与しており49,97 %
- 2022年の人間開発指数70.51、高カテゴリー

北ルウの被覆分布

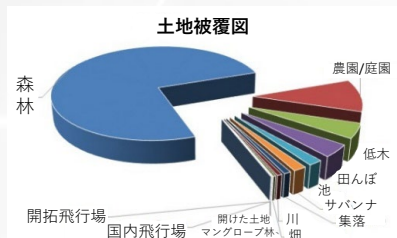


北ルウ地区の土地被覆分布表

被覆の種類	面積 (Km ²)	パーセント (%)
森林	5579,39	75,17
農園/庭園	765,25	10,31
低木	365,49	4,92
田んぼ	292,70	3,94
池	136,42	1,84
サバンナ	122,42	1,65
集落	72,89	0,98
川	51,10	0,69
畑	25,87	0,35
マングローブ林	8,87	0,12
開けた土地	1,49	0,02
国内飛行場	0,23	0,00
開拓飛行場	0,21	0,00
港	0,04	0,00
溜池	0,03	0,00
合計	7422,41	100,00

説明文

- 地区境界
- 州境
- 海岸線
- 森林
- マングローブ林
- 開けた土地
- 国内飛行場
- 開拓飛行場
- 農園/庭園
- 集落
- サバンナ
- 田んぼ
- 低木
- 川
- 池
- 畑





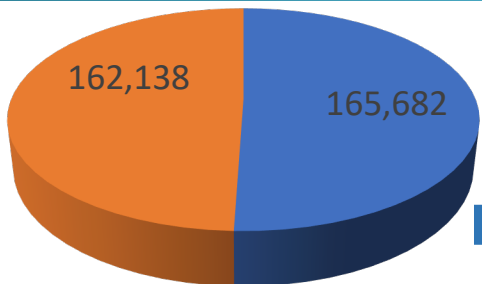
人口、労働、経済プロフィール



人口:
327,820人

年齢別の人口:

- 0-14歳 84,401人
- 15-64歳 223,321人
- +65歳 20,098人



- 男性
- 女性

68,12 % 生産年齢

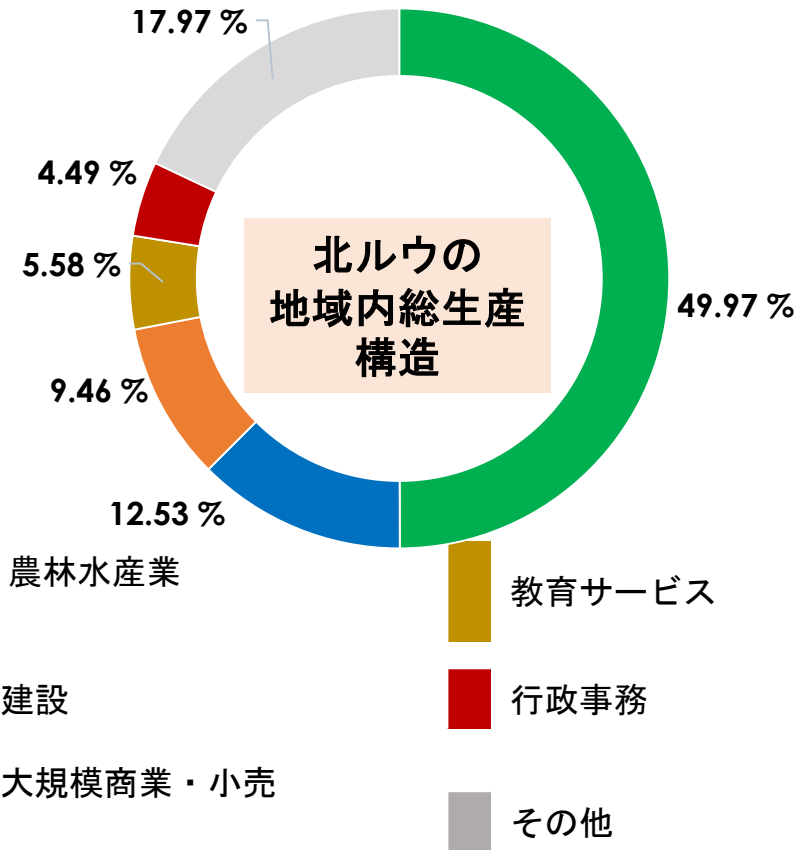
労働力人口 **169,845人**

- 就業人口 165,071人
- 完全失業者 4,774人

業種別

- **48.72 % (80,427人)** 農業セクター
- **13.91 % (22,955人)** 製造セクター
- **37.37 % (61,689人)** サービスセクター

■ 人口密度平均 **43.89 / km²**



北ルウの経済成長 **4.54 %** (2022年)、大部分は農業、建設、商業、教育サービス、行政事務から創出されている (**82,03%**)

北ルウ島の村落開発指数のステイタスの推移

村落開発指数のステイタス



2019

自立 = 2 村
 発展 = 14 村
 発展途上 = 64 村
 後進 = 69 村
 超後進 = 17 村

2020

自立 = 7 村
 発展 = 25 村
 発展途上 = 102 村
 後進 = 32 村
 超後進 = 0 村

2021

自立 = 13 村
 発展 = 41 村
 発展途上 = 94 村
 後進 = 18 村
 超後進 = 0 村

2022

自立 = 20 村
 発展 = 59 村
 発展途上 = 76 村
 後進 = 11 村
 超後進 = 0 村

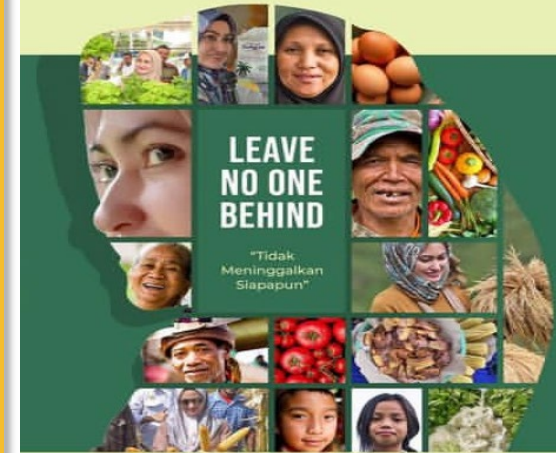


2023

自立 = 41 村
 発展 = 77 村
 発展途上 = 43 村
 後進 = 5 村
 超後進 = 0 村



2019 - 2023年の
パフォーマンス



データの出所：村落社会強化局、
2023

村落資金割り当て政策

村落資金予算 上限

利益分配金（たばこ税利益分配金、森林再生資金利益分配金、特別自治石油ガス利益分配金追加分を含まない）と当年度に県/市が得た一般交付金の10%

1村あたりの 村落資金予算配分



村長、村官房長、その他の村落機構選挙情報システム用基本分配金

2023年度 下記を追加して再編:



生態系に基づく県予算移転（TAKE）スキームを通じた村落業績分配金

村落開発指標の比重60%、持続可能村の比重40%

法的根拠

村落資金、村政府分の地方税・手数料利益分配金の配分、算出、供出及び利用手順に関する県知事令2022年第52号

30 村が村落業績分配金を取得

TAKEスキームにより、村の権限となっている環境管理及び持続可能な開発を行う上での村落行政運営のパフォーマンスの向上を促進する。

経済指標（村営企業）、社会指標（極度の貧困、発達障害、児童の婚姻防止、非就学児対応）を追加することで、2024年度のTAKEスキームによる村落業績分配金に用いる指標を見直し予定



2021-2026年の地域開発政策

RPJMD
RENCANA PEMBANGUNAN JANGKA MENENGAH DAERAH
TAHUN 2021-2026



地域開発の方向性

地域間格差問題の解消

目標:

1. 地域間（山岳部、平野部、沿岸部）の均衡の向上
2. 地域の成長センターの競争優位性の向上
3. 基本サービスの質とアクセスの向上、競争力の向上、地域の自立
4. 環境収容力と負荷に見合った地域空間の活用のためのシナジーの向上

地域開発の戦略とアプローチ

成長回廊

「新たな経済成長地域、戦略地域、工業団地、成長回廊上の都市部・村落部の開発を加速することにより、地域の経済成長を促進する」

均衡回廊

地域サービスセンターと広域サービスセンターの開発を通じて、より基本サービスの均衡をはかり、新たな基本サービスセンターが形成されることでより広い地域、特に均衡回廊の枠組みで後進地域にサービスが行き届くようにする。

開発地域における目標、主要プロジェクト及び優先プログラム



畜産、農業、海洋水産、
観光地域の開発

新たな経済成長地域





村落地域の目的

指定地域における当事者の様々な政策、計画、プログラム、活動を統合化することにより、参加型のアプローチを通じてサービスの質、経済開発、村落社会の活性化を加速化・強化する。

優先事項：

01 村落地域のポテンシャル開発

02 村落地域の問題と戦略的課題の解決



北ルウ県の村落地域

マサンバ アグロツーリズム 村落地域

ピンカラ村を中心とする7つの村から構成され、成長センターとして農業と観光のポテンシャルを開発

ロンコン 集水地 村落地域

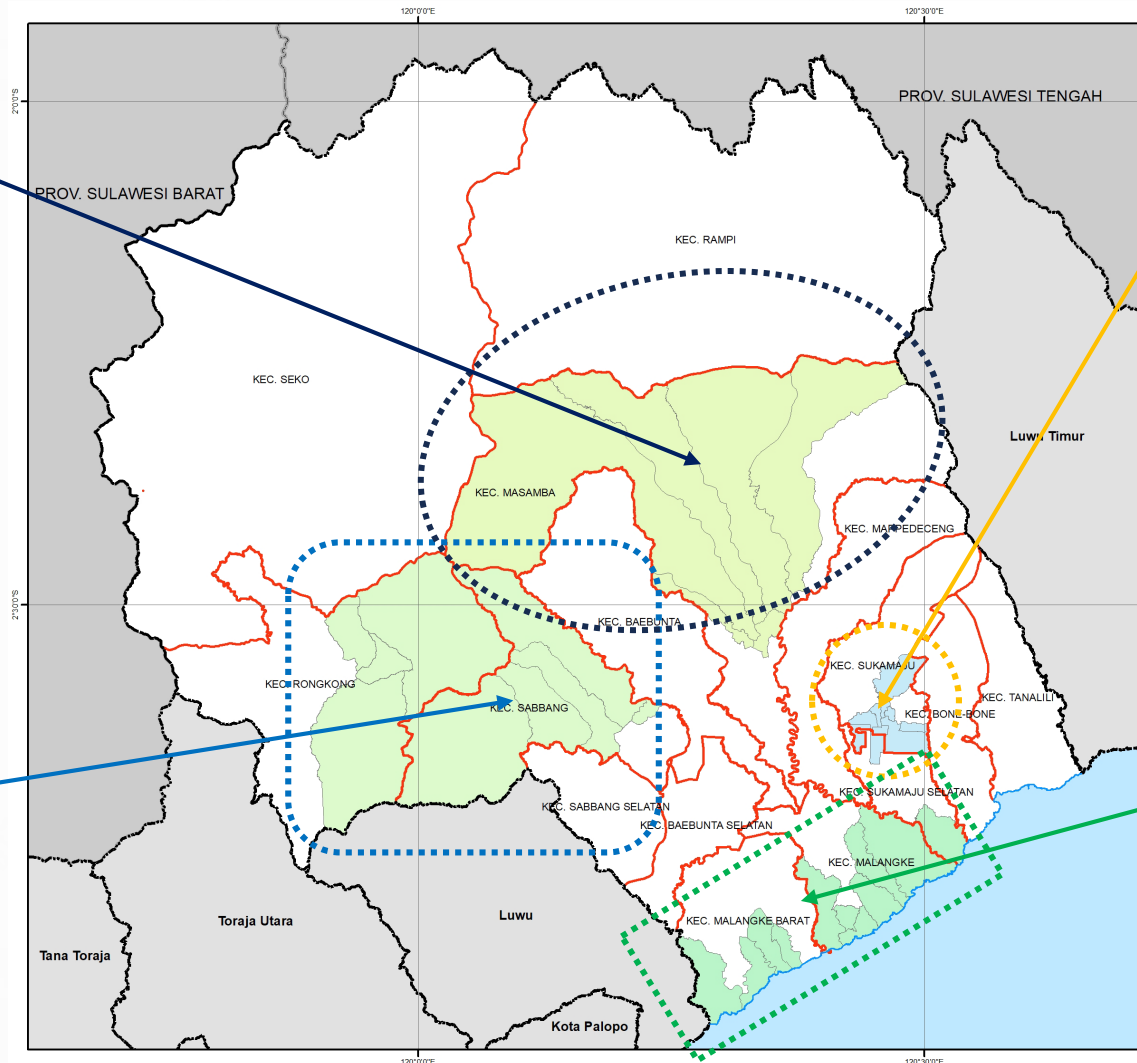
ロンコン郡とサバング郡にある9つの村から構成され、農業と観光のポテンシャルを開発

スカマジュ 農業振興（アグロ ポリタン） 村落地域

シドラハルジョ村を中心とする7つの村から構成され、食用作物や園芸作物のポテンシャルを開発

ボネ湾沿岸 村落地域

マランケ郡と西マランケ郡の沿岸部に11の村から構成され、捕獲漁業と養殖業のポテンシャルを開発

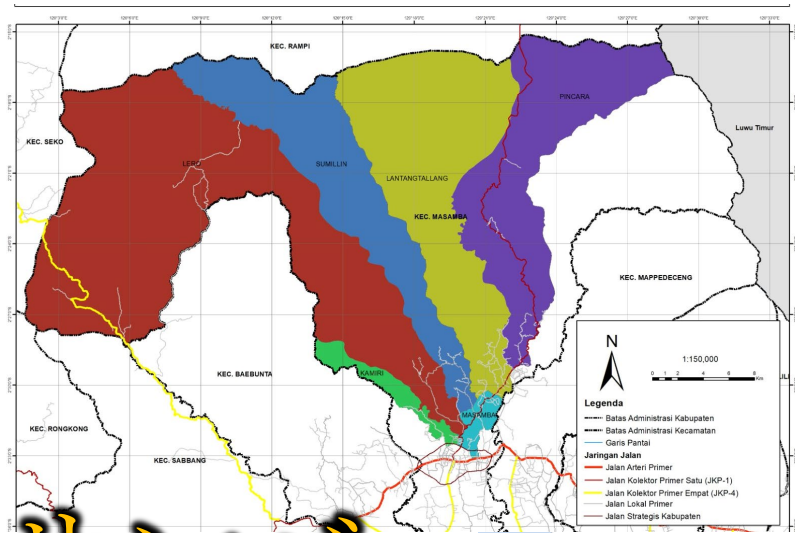


地域プロフィール1

- アグリツーリズム、畜産、林業のポテンシャル開発
- マサンバ流域という環境機能と環境収容力の点で戦略的価値を有する
- すでに開発許可を取得済みのコミュニティー管理林のポテンシャル
- プランテーション産品、非木材林産物、アグリツーリズムが地域経済に大きく貢献
- **2021-2025年村落地域開発計画**

村落開発指数のステイタスの推移

No	村	2021	2022	2023
1	ピンチャラ	発展途上	発展	発展
2	スミッリン	発展途上	発展途上	発展途上
3	ランタン タラン	発展	発展	発展
4	マイピ	発展途上	発展	発展
5	バリリ	自立	自立	自立
6	カミリ	発展	自立	自立
7	マサンバ	発展途上	発展途上	発展



マサンバ アグリツーリズム 村落地域



地域プロフィール 2

- 農業振興地域開発センター
- 食用作物と園芸作物の優良製品の生産拠点
- 地域サービスセンターに指定
- 灌漑施設を備えた水田が多い
- 食用作物・園芸作物が村落地域経済に大きく貢献している
- 十分な農業インフラ施設に支えられている
- 2017-2026年地域マスタープラン

スカマジユ 農業振興 村落地域

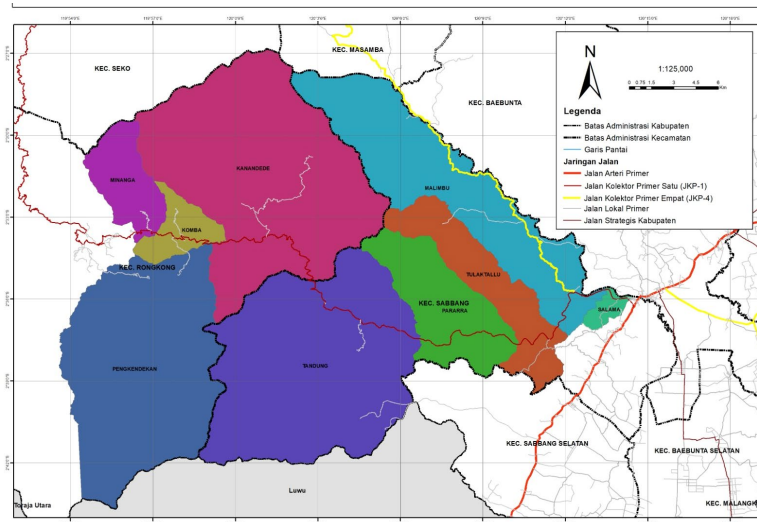


村落開発指数のステイタスの推移

No	村	2021	2022	2023
1	スカマジユ	自立	自立	自立
2	トランギ	発展	発展	発展
3	スカダマイ	発展途上	発展途上	発展途上
4	ムリヤサリ	発展途上	発展	発展
5	ヲノサリ	発展途上	発展途上	発展
6	カルク	発展途上	発展途上	発展
7	シドラハルジョ	発展	発展	発展



地域プロフィール 3



- 水田農業、プランテーション、林業、観光業のポテンシャル開発
- ロンコン流域という環境機能と環境収容力の点で戦略的価値を有する
- すでに開発許可を取得済みのコミュニティ管理林のポテンシャル
- 食用作物、園芸作物、プランテーション、非木材林産物、観光が地域経済に大きく貢献
- 2020-2024年地域開発計画

村落開発指数のステイタスの推移

No	村	2021	2022	2023
1	サラマ	自立	自立	自立
2	マリンプ	発展途上	発展途上	発展
3	トゥラック タッル	発展	発展	発展
4	パラッラ	発展途上	発展途上	発展途上
5	タンドウン	発展途上	発展途上	発展途上
6	カナンデデ	発展途上	発展途上	発展途上
7	ミナンナ	後進	後進	後進
8	ペンケンデカン	後進	後進	後進
9	コンバ	発展途上	発展途上	発展途上

ロンコン集水地 村落地域



地域プロフィール 4

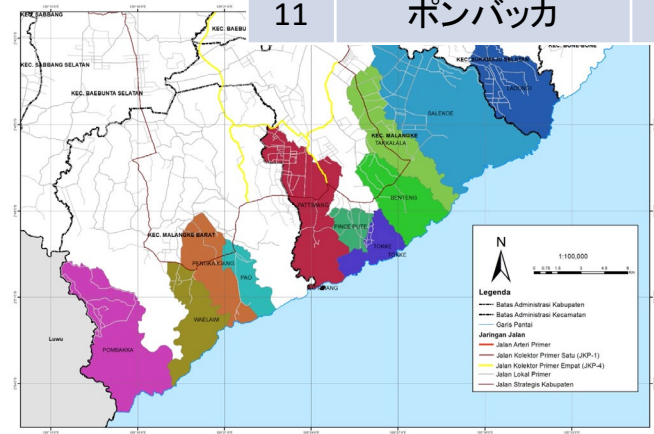
- 海洋水産地域開発センター
- 捕獲漁業と養殖漁業の優良商品の生産拠点
- 水産物、サゴを含む食用作物、プランテーション及びマリンツーリズムが、地域経済に大きく貢献
- 十分な外環県道に支えられている
- 2021-2025年地域開発計画

ボネ湾岸沿岸 村落地域



村落開発指数のステイタスの推移

No	村	2021	2022	2023
1	タッカラ	発展途上	発展途上	発展
2	ベンテン	発展途上	発展途上	発展途上
3	トツケ	発展途上	発展途上	発展
4	パットイマン	発展途上	自立	自立
5	ラドンイ	発展途上	発展途上	発展
6	ピンチェプテ	発展途上	発展途上	発展途上
7	サレコエ	発展途上	発展途上	発展
8	パオ	発展	発展	自立
9	ペンカジョアン	発展途上	発展	発展
10	ワエラウィ	発展	発展	発展
11	ポンバッカ	発展途上	発展途上	発展

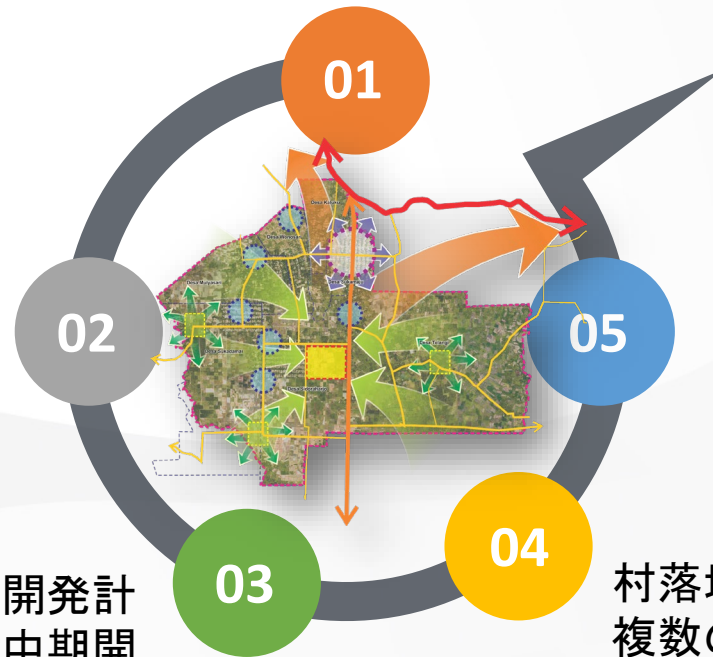


村落地域の実施戦略

村落地域開発計画文書を県知事令の形で規定されており、北ルウにおける村落地域戦略と介入策の実施のレファレンスとする

村落地域の実施を支えるために、県知事決定により、さまざまなステークホルダーから構成される村落地域開発調整チームを結成

村落地域開発計画文書を、地域・村落開発計画・予算文書（地方中期開発計画、村落中期開発計画、地方開発業務計画、村落開発業務計画、地方予算、村落予算）に統合

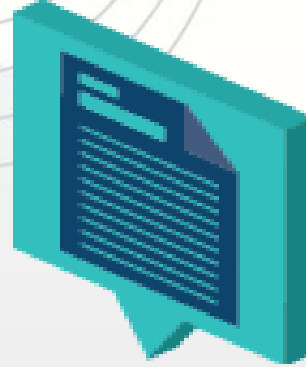


村落地域開発の実施について、所定の業績指標に基づき、定期的なモニタリングと評価を実施

村落地域開発計画の資金調達と執行には、複数のステークホルダー（政府、有識者、民間、コミュニティ／CSO、メディア）がそれぞれの権限に基づき関与



村落地域の法的枠組及び組織

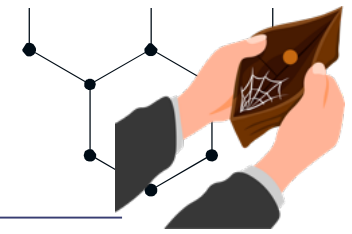


県知事決定を通じて調整チームを結成

県知事令を通じて村落地域開発を決定



村落地域の資金調達のポテンシャル



村落地域開発計画を実現するためには当然ながら
ステークホルダーによるシナジーと連携が必要であり、
それぞれの権限に応じた関係者の役割分担に
についても計画文書に記載



国家予算・州地方予算




県地方予算・村地方予算



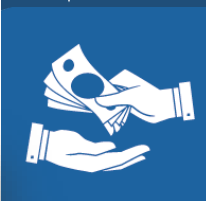
その他合法的な資金源

民間、フィランソロピーコミュニティ、
CSO / コミュニティー / 個人


村落地域実施の影響



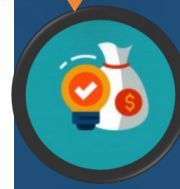
優良品目の生産能力向上を支援したことで、2020年のコロナ禍と洪水災害後の2022年にのs経済成長は-0.59%から4.54%となり、北ルウの経済に貢献した。この地域の主要品目である農業セクターからの貢献が最も大きく49.97%、食用作物サブセクターが7.87%、プランテーションが23.34%、園芸作物が2.30%、漁業が13.55%、畜産が1.36%であった。



地域経済活動の取引比率向上を支援、購買力平価／一人あたりの年間支出額が2021年の1173万6000ルピアから2022年には1210万5000ルピアに上昇したことに示される。



4つの地域34村の村落開発指標ステイタスの向上を支援、2023年は自立6村、発展18村、発展途上8村、後進2村であった。



村落の業績向上を支援、2023年に北ルウで実施された生態系に基づく村落予算移転 (TAKE) スキームにより、業績が良好であった30の村に配分、うち60%、18の村が村落地域に属する。

村落地域の優位性の開発

01. 比較

地理的状况、良好で安全で持続可能に開発された天然資源

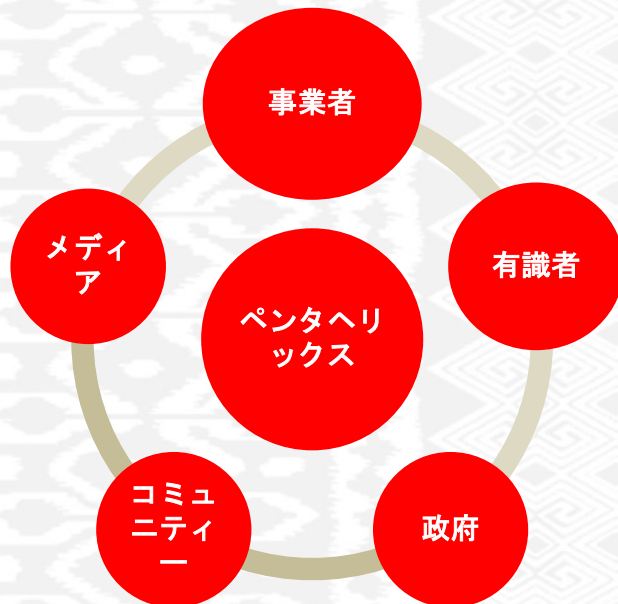
教養があり、強く、災害に強い住民・労働力・労働者

安定的に守られた治安秩序

インフラ：近代的で整備された道路、港湾、空港、電気、上水、交通網、災害インフラの確保

03. 協調

中央政府、地方政府、村政府、事業者、大学、住民、メディアの協力とパートナーシップ



02. 競争

助長的な投資環境・事業環境

堅実かつ一貫した減災への取り組み

近代的でプロフェッショナルで説明責任を有する地方の行政

国際基準の生産・サービス

高品質でプロフェッショナルで広いネットワークを有する事業者

明確で一貫性があり、測定可能で持続的な地方政府投資政策



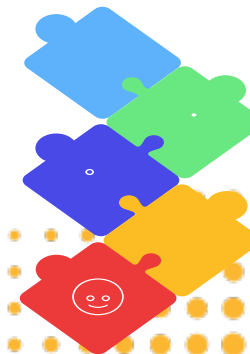
“ステークホルダー
の参加が開発の鍵
、
すばらしきインドネシアの
ために村落から開発を”



Indah Putri Indriani



indahnyalutra



ありがとう
ございました